



親子スケート教室



12月17日、豊頃小学校体育館と町営スケートリンクで親子スピードスケート入門教室が行われ、8組のスケート初心者の幼児や小学生の親子が参加しました。この教室は、スピードスケートの基礎となる技術を習得するため教育委員会が行っているもので、講師には町スケート協会の会員があたりました。

最初は体育館内で紐の縛り方など正しいスケートの履き方を教わり、続いて上手な転び方、立ち上がり方を練習。さらにスケートを履いて立ったり歩いたりする練習をした後、外のリンクに出て実際に氷上でスケートを履き、立って歩く練習をしました。

氷の上では、立つのに苦労する子もいましたが、面白そうに初めてスケートを楽しんでいました。

大津の杉山さん、食堂をオープン



12月13日、大津寿町の杉山君代さんが「きいちゃん食堂」をオープンしました。

自宅敷地内にオープンした食堂には、午前11時の開店を待ちかねた地域の方々次々に訪れました。地元の人から「きいちゃん」の愛称で呼ばれている杉山さんは、皆さんに親しまれる食堂にしたいとの思いから、食堂の名前にしたそうです。

約20年間、長節湖畔の海の食堂での経験を生かし、長年の夢でもあった食堂経営を町の産業振興事業を利用し、開店の運びとなりました。

メニューは、大津の海で獲れたホッキ、ツブ、サケを利用したラーメン、カレー、定食等です。

営業時間は午前11時～午後3時。

プレミアム商品券を発売



12月16日、町商工会、JA豊頃町総務部、役場大津支所の3カ所でプレミアム付き商品券が販売されました。この日は、65歳以上を対象にした予約分の販売とあわせて一般向けの販売が行われ、商工会館2階では午前9時の販売開始前に約40人の町民が集まり、整理券の順に購入していきました。

今年度の同商品券は、額面500円を24枚組み合わせた1セットを1万円で販売。当初は5000セットを4回に分け、このうち最終回の今回は1500セットを発売する予定でしたが、町がプレミアム分の補助増額を補正予算に盛り込み、12月の定例町議会で可決され、当初予定していた2倍に相当する3000セットを売り出しました。

入所者に口腔ケア用品を寄贈



特別養護老人ホームとよころ荘（施設長：石塚周二）では平成21年4月から施設内に口腔ケア委員会を立ち上げ、豊頃町歯科診療所（所長：夏野伸一歯科医師）の協力のもと、入所者の誤嚥性肺炎ゼロをめざして介護職員が一丸となった取り組みを行っています。そのひとつとして夏野所長が毎月1回、同ホームを訪れ同委員会で介護職員に口腔ケア指導を実施しています。

12月21日、この日指導に訪れた夏野所長は、さらなる入所者のお口の健康増進に役立ててもらおうと入所者全員分の口腔ケア用スポンジブラシと舌ブラシを寄贈しました。石塚施設長は「夏野所長のご協力にとっても感謝しています」と話しました。

地域住民を対象に道徳授業を公開



12月9日、豊頃中学校で地域公開参観が行われ、「報徳のおしえ」を生かした道徳の授業が全学年で公開されました。同校では3年前から公開参観日に、各学年が「報徳のおしえ」を取り入れた道徳の授業を行っています。

2年生の教室では、工藤由佳教諭が尊徳の学習漫画の資料を生徒に配り、農村を復興した尊徳の生き方から「報徳のおしえ」の4綱領を学びました。

その後、NTTドコモあんしんインストラクターによる親子学習会「ケタイ安全教室」が行われ、メールやインターネットを使った様々なトラブルや犯罪に巻き込まれない方法が話され、参加者は熱心に耳を傾けていました。

美しい歌声で聴衆を魅了



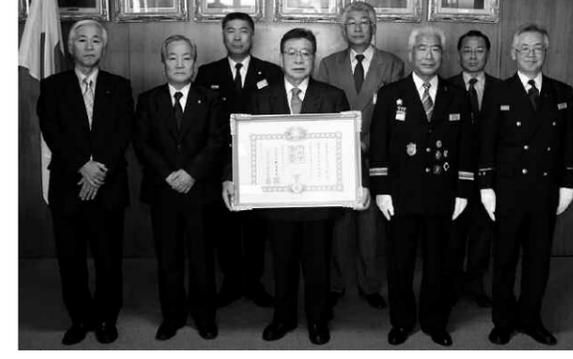
12月11日、える夢館で町内のサークル「コーラスえる夢」（斎藤真由美代表）主催による「ほのぼのコンサート」が開かれました。

公演は4部構成で、最初に町内の廣澤ピアノ教室に通う生徒たちのピアノ発表が行われました。

コーラスのオープニングでは「幸せなら手をたたこう」や斎藤代表が作詞し、指揮者の大熊均さんが曲をつけ、ピアノの廣澤瑞恵さんが編曲し「コーラスえる夢」のテーマソングになった「幸せになれるね」を会場全体で合唱するなど盛り上がりしました。

「千の風になって」、「村の風車」など18曲が披露され、美しいハーモニーが約130人の聴衆を魅了しました。

長谷川さんが瑞宝単光章を受章



平成23年秋の叙勲（消防功労）で、元豊頃消防団長、長谷川睦裕さんが瑞宝単光章を受章しました。

長谷川さんは、昭和44年に豊頃消防団に入団。平成15年から19年まで団長として活躍。火災その他の災害に対し、卓越した手腕をもって団員を指揮統率し、災害の未然防止と被害軽減に尽力されるとともに、団員の育成指導等、37年余りの長きにわたり豊頃消防団の発展に努められた功績が認められてこの度の受章となりました。

12月7日、伝達式が役場応接室で行われ、宮口町長や前田豊頃消防団長が同席する中、十勝総合振興局地域政策部の由川孝典部長から伝達されました。

いのちとふれあい いのちをつぐむ



12月11日、豊頃中学校体育館を会場に町PTA連合会研究大会並びに町づくり講演会が開かれました。

町PTA連合会および町地域づくり推進委員会の主催で「豊頃教育の日」推進事業として開催され、各団体やPTA関係者など約70人が参加しました。

講師に釧路市動物園の山口良雄園長を迎え、「いのちとふれあい いのちをつぐむ」と題し講演が行われました。

山口園長は、同園で目の当たりにした動物たちの生死をスライドを使って紹介しました。特に、四肢に障害を持って生まれたアムールトラの兄妹「タイガ」と「ココア」の飼育体験を通し「生きようとする力の大切さ」を伝えました。

▽はるにねは見ていた

役場だより

▽はるにねは見ていた

役場だより

